

事務事業名		部落解放愛する会事業参画事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)			
政策体系	基本目標	5 市民みんなで作る夢のあるまちづくり					事業区分	担当組織	担当部	市民生活部	担当課	人権・男女共同参画課	
	政策	1 人権を尊重した市民参加によるまちづくり						担当係	人権推進係	担当課長名	小菅 誠		
	施策	2 個々の人権を尊重する地域社会の形成と男女共同参画社会の実現						新規事業・継続事業	継続事業				
	基本事業	2 人権問題の解決						実施計画事業・一般事業	一般事業				
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名	市単独事業・国県補助事業	市単独事業					
	1906	一般	2	1	12	部落解放愛する会事業参画事業	任意的事業・義務的事業	任意的事業					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	S53年度～ 年度		根拠法令 条例等	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律、佐野市人権教育・啓発推進行動計画	実施方法	直営					
							事業分類	参画事業					
							リーディングプロジェクト	該当なし					
							市長マニフェスト	該当なし					

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)						
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)				
同和問題をはじめ様々な人権問題の解決を図るため、部落解放愛する会から参加要請のある研修会等に、関係職員が参加することにより、人権問題の理解を深める。 ※部落解放愛する会佐野市協議会は、部落民の市民的諸権利と自由を保障し、部落完全開放を達成することを目的とし、地域で組織される支部の会員をもって構成している団体である。		(市の活動) 運動団体の主催する定期大会、講演会、研修会等に参加した。 (協議会の活動) 自意識高揚のための各種大会・研修会等参加、人権擁護及び人権啓発。				
		活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)
		各種大会・研修会参加回数	回	6	7	7
		各種大会・研修会参加職員数	人数	52	81	77
					28年度(見込)	29年度(見込)
					73	70
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)						
市職員		対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)
(参画対象団体) 部落解放同盟佐野市協議会		市職員数	人	806	943	943
					28年度(見込)	29年度(見込)
					943	943
目的 ③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)						
同和対策運動団体主催の研修会等に、関係職員が参加することにより、人権問題の理解を深める。		成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)
		人権問題の理解を深めた職員の割合	%	100.0	100.0	100.0
					28年度(目標)	29年度(目標)
					100.0	100.0
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)						
人権に関する問題が解決されている。		上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)
		日頃から人権を意識しながら生活している市民の割合	%	70.6	77.0	82.0
					28年度(目標)	29年度(目標)
					83.0	83.0

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	420	292	478	478	478	
	事業費計(A)	千円	420	292	478	478	478	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			負担金、補助金及び交付金	420	負担金、補助金及び交付金	292	負担金、補助金及び交付金	478
	人件費	人	3	3	3	3	3	
のべ業務時間	時間	464	464	464	464	464		
人件費計(B)	千円	1,805	1,829	1,829	1,829	1,829		
トータルコスト(A)+(B)	千円	2,225	2,121	2,307	2,307	2,307		

事務事業名	部落解放愛する会事業参画事業	担当部	市民生活部	担当課	人権・男女共同参画課	担当係	人権推進係
-------	----------------	-----	-------	-----	------------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	昭和53年に団体が設立したときから開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	同和行政から同和問題を包括した人権行政へと移行している。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	運動団体から職員を多く参加させてほしいという要望がある。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(コストの見直し)	事業の成果に影響が出ない範囲で、参加人数を抑制するなどの削減を図った。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	同和行政は、市政の重要課題として位置付けし推進している。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	市は、施策として人権を尊重した市民参加によるまちづくりを推進している。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	職員が同和問題をはじめ様々な人権問題に対する知識を習得したり、理解を深めることは重要である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	研修会等に参加することにより、人権問題について理解を深めるなどの効果を上げている。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はあるが、統合・連携できない	理由・改善案	類似事務事業名 部落解放同盟事業参画事業 事業対象団体が異なるため統合・連携できない。
	*類似事務事業があれば、名称を記入			
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	事業費の削減余地がある	理由・改善案	市民への啓発活動の充実を図るために、研修会等に参加して人権問題に対する知識の習得や理解を深めることは、人権問題解消のために必要である。そのため、事務事業の成果に影響が出ない範囲で参加人数を削減する。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	研修等に参加するための負担金なので、受益者負担の余地はない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
	同和問題の解消。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																		
事業のやり方改善(コストの見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 事業の成果に影響が出ない範囲で、参加人数を抑制するなどの削減を図る。	廃止・休止の場合は、記入不要×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	○	×	低下	×	×	運動団体の理解を求める必要がある。
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成果	向上																			
	維持	○	×																	
	低下	×	×																	